

情 報 公 開 文 書

研究の名称	外斜視に対する切除術を用いた前後転術と plication を用いた前後転術の比較検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学附属病院眼科 林 篤志 教授
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山大学附属病院で 2018 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに外斜視と診断され、手術加療を受けた患者さん</p> <p>【研究の目的・意義】 近年、外斜視に対する手術は切除術による内直筋短縮術にかわり、plication を用いた術式で前後転術を行うようになっています。plication を用いた前後転術は、切除術よりも外科的外傷、炎症、出血が少なく、前眼部への血流を保つことができる手術方法として注目を集めています。しかし、plication を用いた場合、切除術とおなじ術後結果になるかは議論の余地があります。当院における plication と切除術の術後を比較検討することで、代替できる方法なのかを検討します。</p> <p>【研究の方法】 富山大学附属病院で 2018 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに外斜視と診断され、手術加療を受けた患者の診療録から後ろ向きに術前術後の斜視角、両眼視機能、また術前の屈折、頭部画像検査、プリズム眼鏡使用の有無などを確認します。</p> <p>【研究期間】 研究実施許可日から 2025 年 3 月 31 日まで</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表、論文掲載を予定しています。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>主要評価項目：斜視角 副次的評価項目：年齢、屈折、両眼視機能、視力、融像幅、術式 他機関への情報の提供：無</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院眼科 林 篤志 教授
研究対象者、親族等関係者からの相談等への	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り

対応窓口	扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 担当者所属・氏名 眼科 片山法子 研究対象者等からの相談窓口 電話対応 076-434-7363
------	--